

武蔵野東学園 連合後援会だより



創立 40 周年記念事業募金

東学園では、平成 16 年度創立 40 周年に向けて、平成 13 年度から校舎の再生拡充やコンピュータ環境の整備といった「創立 40 周年記念事業」が行われてきており、そのほとんどが既に完了・完成をしております。この事業支援のための募金活動が当初より平成 16 年度末(平成 17 年 3 月 31 日)まで行われています。

創立者北原キヨ先生をはじめとする先生方と、私たち保護者が望んだこの素晴らしい「東」の教育がこれからもますます光り輝くようお願い、活動に協力していきましょう。

<●月●日現在の募金状況>

申し込み総額

¥ 86,849,026 (1,027 件)



発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会

新 25 号

平成 17 年 3 月 4 日発行

レポート

防災講座開催	1 頁
小学校学園祭・幼稚園 園まつり	2 頁
K ² DANCE リサイタル・幼稚園発表会	3 頁
ウェルカムパーティー	3 頁
記念グッズ販売のご報告	3 頁

各園校副会長からのメッセージ

幼・小・中・高等専修 後援会副会長から・・・ 4 頁

月日が経つのは早いもので、あたふたしているうちにもう今年度もこれで最終号となりました。11 月の臨時増刊号をはさんで前号(7 月 9 日発行の新 24 号)からしばらく期間が空いてしまいましたので、年度後半の半年分の記事を一気に掲載させていただきました。やや旧聞に属することもあります。皆さんの思い出が詰まったこの半年を振り返っていただければ幸いです。

防災講座開催

去る 6 月 29 日、小学校研修部による父母研修会「防災講座」を開催いたしました。

東京消防庁武蔵野消防署の時吉さんをお招きして、地震災害の恐ろしさ、備えの大切さを実際の阪神大震災のビデオを見ながらお話をしました。

その後、起震車による震度 7 の地震体験を行いました。

当日は晴れていれば校庭で業間の時間を利用して、たくさんの子供達に起震車体験を見てもらえるはずだったのですが、あいにくの雨で、抽選に通った子供達だけがお父さんお母さんと共に起震車を体験し、教室に戻って他のお友達に話をしてもらおう形になりました。

悪天候にも関わらず 113 名の保護者の方々が参加、熱心にお話を聞いてくださり、防災に対する関心の深さが伺えました。

「親子で地震体験をさせていただきました。予想以上に激

しい揺れで、実際に起きたらパニックになるので、備えをすることが大切と改めて家族で話合いました。」「防災頭巾をかぶったつもりでも激しい揺れの中では飛んでしまい、頭を守る事が出来ませんでした。これでは自分の身を守る前に子供を守ることが出来るだろうかと考えさせられました。防災グッズも用意していない我が家では、もう一度防災についての意識を高めようと思います。パンフレットを頂いたので、立川防災館にも足を運んでみます。」「帰宅してから我が家の家具配置は危険だと気付きました。家具は倒れるだけでなく横に飛び出してくる事を知り、早速金具で家具の固定をします。」などのご感想を多数頂きました。

新潟やインド洋での大地震のニュースの流れる毎日です、とても人事とは思えません。どうぞいざというときの備えをお忘れなく。

小学校 M

小学校学園祭

秋晴れの中、小学校学園祭が去る 11 月 13 日に催されました。

模擬店では例年通り地域との共生を図り、周辺の商店より様々なメニューを取りそろえました。5 年生役員での試食会や、打ち合わせを重ね、当日はスムーズに進行することが出来ました。寒かったこともあり、うどんや豚汁の売れ行きは好調で終了時間を待たずに完売いたしました。お手伝いのお母さま方の手際が素晴らしく、後片付けが早々に終了いたしましたことに感謝しています。また、今年ごみ分別にも力を入れ、容器類などは全て資源ごみといたしました。分別、洗浄にご協力いただき、ありがとうございました。

バザーでは多くの手作り品・贈答品のご寄付をいただき、品揃え豊かに開催することが出来ました。例年と異なる教室を会場として使用しましたが、商品の陳列を工夫したこと、出入口を別々に設けることによってお客様の流れを良くすることが出来、販売をスムーズに行うことが出来ました。皆様のご協力に感謝いたしております。

ビンゴ大会は会場の子供達を男女に分けて、景品交換が手早く出来るよう工夫いたしました。また、低学年の子供達のそばには担任の先生方に座っていただき、アルファベットと番号が分かるように補助していただきました。先生方の全面的なご協力のおかげで予定時間通りに終了することが出来、子供達にも十分に楽しんでいただけたのではないかと部員一同満足しております。

お父さんのゲームコーナーは、今年も大盛況。新しく加

わった「フリスビー DE ビンゴゲーム」前にはまるでディズニールンドのような長蛇の列が出来ました。その日の記念にもなるプリクラコーナーも大人気！お手伝いをして下さった多くのお父さま方、お忙しい中ご協力をありがとうございました。

卒業準備委員会ではオリジナル商品として、有志のお母さま方がビーズ人形ストラップを作って下さいました。東小の夏制服姿の女の子、これが可愛い!! 2 回に分けて 100 個を限定販売いたしました。アツという間に売り切れてしまいました。また、子供達を喜ばせるためにアトラクションゲーム『ミステリー・ツアー』を企画、展開いたしました。役員だけでなく、プロジェクトチームが発足、ご協力をいただきました。六年生母達の熱い思いが結集し、プロ顔負けのセットと仕掛けで、迫力満点な出来に。子供達にとっても、母達にとっても小学校生活最後の学園祭が良い思い出となったと思っています。

幼稚園 園まつり

第 40 回園まつりは、あやしい天気も吹き飛ばし、無事に楽しく終了することができました。ありがとうございました。皆様のご協力のおかげです！さて今回は、園まつり準備の様子と当日の卒園の様子についてご紹介します。模擬店の新しいメニューなどは 6 月から話し合い、多数決で絞り込んでいきます。どの位注文数が入るかドキドキです。バザーの値付けのためには、担当を決め、「夏休みの宿題」で、デパートや大型スーパーなどで値段をリサーチ！それを一覧表にし、参考にしながら割安に値段付けをします。そして当日、楽しいお店の開

ご理解、ご協力をありがとうございました。

その他にも、毎年ご参加くださる OB 会の皆様による焼きそばや、餅つき。お菓子作りの得意なお母さま(実はお父さまもいます。)によるショッブ“まますウィーツ”。特別参加として CDE 組の有志の保護者の方による「スペシャルオリンピックス日本」の長野冬季世界大会記念 T シャツの販売も行われました。東学園ならではの売れ行きに関係の方々にも大変喜んでいただけました。ご支援をありがとうございました。

このように学園 40 周年の学園祭における後援会活動を大変賑やかに、和気あいあい楽しむことが出来ましたことをご報告させていただきます。

小学校 W・M・他



店!となるのです。売上は園に寄付し、子供たちのため役立てていただきます。卒園の方も、今年も先生方、保護者の方々のご協力のもとにゲーム、販売共大盛況でした。ゲームは子供達の大好きな“二モの世界”を想定し海底を探検するという設定で、前売券 780 枚、当日券 130 枚すべて完売でした。販売は、おもちゃ・雑貨・オリジナル品・喫茶コーナーと、どこもお客様でいっぱい、心のこもった手作り菓子も大好評でした。売上は、卒園準備として使わせて頂きます。今後も 3 月の卒園に向けて活動を続けて参りますので、ご協力の程宜しくお願い致します。

幼稚園 W・O

K²DANCE リサイタル

9月12日(日)ARTE(武蔵野文化会館大ホール)にて「K²DANCE リサイタル Vol.5 Seek Deeper さらに深淵へ」が行われた。3部で構成されたステージは、「COME DANCE WITH ME」で歓声と共にその幕を開けた。色とりどりの衣装、そして軽快なステップ。これから始まるショータイムに心をワクワクさせたのは、私だけではないだろう。1部、2部はソロやチームのダンスだった。それぞれにテーマがあり、ある時は、凛々しく、元気良く、ある時は、艶やかに、しなやかに、手先、足先まで心を配りながら表情豊かに現してゆく。ただ、音に合わせて踊るだけでなく、その曲のイメージとステップがピタリ

と合っていて個々の表現力のレベルの高さをうかがうことができた。

3部は大作。今回は「おしゃれ泥棒」を光、闇など6場面に演出。静と動を巧みに表現し楽しく見応えのある作品だった。静の表現で圧巻だったのは、ルノワールの「舟遊びの昼食」をはじめとする名画、彫刻である。大きな額縁の中(或いは台の上)実物を彷彿とさせる動作を長時間、息も瞬きもしていないのでは?と思うほど完璧にこなしていた。とにかくスゴイ!のひと言。その名画、彫刻の前では、主人公ニコルと父の会話で物語が展開する。絵を盗みに来たパウアー率いる泥棒たちのダンスは、シャープでカッコイイ!又、美術品の見学者刃優雅で、所狭しと動

き回る警備員は、コミカルで印象的。チャージングで愛らしいメイドたちは、エピソードへと観客をいざなう。総勢37名のダンサーたちは、それぞれの思いを胸に今日の日を迎えたことだろう。もしかしたら辛い時もあったかもしれない。でも舞台の上の彼女たちの表情はとても晴れやかで自信に満ちていて何より美しかった。母であり、妻であり、娘であり、はたまたダンサーでもある彼女たちの努力のたまものである。公演終了時の観客の拍手も温かく、会場に一体感が生まれ、何か大切なものを取り戻した気分になった。あれからしばらく、気に入った曲が頭に浮かんで思わずステップしたくなったのは私だけだろうか?

幼稚園 Y

幼稚園発表会

2月5日(土)幼稚園発表会が行われました。40周年という事で、運動会で登場した、大きな青いゆうくんあいやんの旗が、Jリーグの応援のように客席から波うちながら舞台上の園児の方へ向かっていきました。子供達が振り返ると舞台後ろの壁いっぱいにはゆうくんといやんが!!大喜びの歓声とともに元気一杯の舞台が始まりました。

何といっても学園中で一番小さな子供達。風邪など流行るこの時期、保護者の心配はやはり体調管理です。元気に本番の日を迎えられるよう、一生懸命練習した成果を是非舞台上で発揮できるように、心をこめて食事作り、衣装の準備をします。そして当日、大きく成長した子供達の姿に感激、感涙するのです。

幼稚園 O

「ウェルカムパーティー」

発表会シーズンを迎えた2月18日。ボストン東スクールから11名のお客様をお迎えして、恒例のwelcome partyが開催されました。皆様ご存知のとおり、ボストン東スクールは、北原キヨ先生が1987年に設立した姉妹校です。連合後援会として、発表会前日にボストンの友をおもてなしすることが大切な活動となっています。

今年も、暖かいムードの中で楽しいひと時を過ごすことができ、東学園が誇る世界的なネットワークを肌で感じることができました。自閉教育を通じた繋がりは、言葉や文化の違いを問いません。米国でグループホームを成功させた体験談や、英国でも保護者の絆が益々深まっているとのお話しをうかがい、国を超えてネットワークが着実に広

がっていることを大変心強く感じました。

創立50周年に向けて、このすばらしい交流がさらに深まっていけるよう、引き続き皆様ご支援をよろしくお願い致します。

幼稚園後援会会長 白井周平

記念グッズ販売のご報告

連合後援会では、創立40周年の記念行事として記念グッズの販売を行いました。「新校舎にランドピアノを寄付しよう」との合言葉の下、Tシャツ1,194枚、タオル348枚のご購入をいただき、合計で「90万532円」の収益を得ることができました。皆様の暖かいご支援、ご協力誠にありがとうございました。収益金は全額、学園に寄付させていただきましたのでご報告致します。ランドピアノの音色が楽しみですね。

ありがとう東幼稚園

幼稚園副会長 渡辺深香

微力ながら後援会の一員としてお手伝いをさせて頂き、早3年もの月日が経つのかとしみじみ感じる今日この頃です。

娘にはお友達をたくさん作ろうねと常々話をしていましたが、自分もこの場を通して多くの方と知り合う事ができたと思っています。

何より嬉しいのは園に顔を出す事が多いのでたくさんのお友達が声を掛けてくれる事です。「子供浴」とはまさにこの事。

たくさん癒してもらいました。よく考えてみると私の場合、後援会のお手伝いをさせて頂いたというよりは園から多くの事を学ばせて頂いたと感じています。卒園後も親子共々園長先生をはじめ諸先生方に感謝の気持ちを忘れぬ様にし今後も武蔵野東学園の発展をお祈りしたいと思います。

東のつながり

小学校副会長 池山美奈子

現在6年生になる次男が、新年中生として入園した間もない頃のことです。お風呂場から息子二人の歌声が聞こえてくるので、そっと覗き込んでみると、当時3年生だった長男が弟の背中を洗ってやりながら、学園歌を教えてやっておりました。弟も東の仲間になったことが、どんなにかうれしかったのだと思います。兄弟の絆を超えて、東っ子ならではの縦のつながりを感じる場面でした。たとえ年齢が違う園校に分かれていても、しっかりとした共通の熱

い思いが息づいている学園の素晴らしさがあります。殺伐とした少年犯罪が多い今の時代だからこそ、東の教育に育まれたことを心から感謝いたしております。いつも温かいご指導を頂きました先生方、ありがとうございました。

東学園での12年間に感謝

中学校副会長 波山万紀子

一昨年、まさかの五役入りで、戸惑っていた私でしたが、皆様のお支えの下、何とか勤めさせて頂きました。会長様方はじめ皆様に心より感謝致します。いろいろ貴重な経験をさせて頂きましたが、中高協会で他の私学の方々とお話する機会があり、その際、強く感じたことは、東学園後援会の結束の固さ、学園の先生方の熱心さが並々ならない点です。また先日の発表会で、中三の長女が初めて客席から舞台を観て、一人一人の一生懸命な姿に元気をもらい、幼稚園からの舞台も思い返され、本当に感激したと申しております。ひとつの舞台を観て、そこまで感動し、舞台裏の苦労まで思いやれる感性を育てて下さった東学園の12年間に心から感謝申し上げます。



編集委員会(編集スタッフ)

<input type="checkbox"/> 大矢田鶴子 (高等専修)	<input type="checkbox"/> 宮島 祐子 (小学校)
<input type="checkbox"/> 久保 法子 (高等専修)	<input type="checkbox"/> 渡辺 深香 (幼稚園)
<input type="checkbox"/> 波山万紀子 (中学校)	<input type="checkbox"/> 野内 陽子 (幼稚園)
<input type="checkbox"/> 山本 成実 (中学校)	<input checked="" type="checkbox"/> 北川久一郎 (小学校)
<input type="checkbox"/> 高橋かおり (小学校)	<input checked="" type="checkbox"/> 桑原 厚 (小学校)

発行：武蔵野東学園連合後援会だより編集委員会

〒180-0013 東京都武蔵野市西久保 3-25-3 東学園気付

「卒業」～息子へ～

高等専修副会長 阿部 明美

学校生活はもう卒業ですね。おめでとう!小さな手で「bye-bye」して幼稚園バスに乗っていた頃が懐かしいです。あつと言う間に大きくなって、高校生になったら何時も難しい顔をして、話もしてくれなくて心配でした。でも職場実習は緊張したけどよく頑張ったね。先日、会社に遅れそうになった夢を見て、自信を無くして落ち込んでいましたね。就職の日が近づいて、段々不安になっていたのですね。気が付かなくてごめんね。これまでもまだ気が付かなかった事が沢山あったかもしれないね。長い間ごめんさい。母は涙が出てしまいました。これからは、もっと厳しい事が沢山あるかもしれないけれど、大丈夫だよ、皆が応援してくれるから自信持って仕事してね。社会人になる事の意味を理解し、強く生きてほしいと願っています。最近、優しい顔になったね。何でも手伝ってくれるので、とても嬉しいです。人は助け合って生きて行くものだから、皆に優しくしてね。いろんな事を教えてくださった東学園の先生方に感謝しましょう。

アルバムを広げて見たくなった時に感謝の気持ちがわかります。14年間、頑張ってくれて あ・り・が・と・う!
～ 母より～